

令和 7 年 湖西市議会 9 月定例会

市 長 あ い さ つ

令和 7 年 8 月 2 9 日

おはようございます。

本日から、令和7年9月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

（酷暑）

今年の夏は、全国的に平年を上回る気温が記録され、厳しい暑さが続きました。特に、8月5日に群馬県伊勢崎市で41.8度という日本最高気温が観測され、その後も各地で40.0度を超えるなど、記録的な暑さとなりました。

一般的に、「真夏日」とは日中の最高気温が30度以上の日を指し、「猛暑」は日中の最高気温が35度以上、「酷暑」は40度以上の日を意味すると言われています。

市内でも、最高気温が30度を超える真夏日や、最低気温が25度を下回らない熱帯夜が続き、8月2日には最高気温39.0度、8月6日には39.1度を観測するなど、まさに酷暑を象徴するような記録的な暑さとなりました。

（熱中症による救急搬送者の増加）

この記録的な暑さは、市民の健康にも大きな影響を及ぼしています。熱中症による救急搬送者数は、令和7年8月26日までに39名となり、昨年度と比べて約1.4倍の増加となっています。その内訳は、6月9名、7月19名、8月11名で、高齢者（満65歳以上）の割合は64%に達しています。

市民の皆様には、県内に「熱中症警戒アラート」が発表された場合や、熱中症による救急搬送者が2名以上となった場合には、同報無線等を通じて注意喚起を行っています。また、市内20か所には、公共施設やドラッグストア等のご協力をいただき、クーリングシェルト（涼みどころ）を設置しています。お気軽に休憩所としてご利用いただける環境づくりにも力を入れています。

（カムチャツカ半島地震による津波対応）

7月30日（水）、カムチャツカ半島付近で発生した地震により、静岡県を含む太平洋側の広い範囲に津波警報が発表されました。この津波は、遠く離れた場所で発生した地震によって引き起こされる遠地（えんち）津波と呼ばれるものです。幸いにも、本市での津波による人的・物的被害の報告はありませんでした。津波到達までに時間的余裕があったことや夏の暑い時期であったことを考慮して、沿岸地域にお住まいの市民の皆様への臨時的な一時避難場所として「新居地域センター」や「白須賀中学校」を開設し、同報無線やほっとメールを通じて避難の呼びかけを行いました。避難場所には64名の市民が避難し、また、住吉地区の命山や新居小学校、新居中学校、新居高校、民間企業の津波避難施設などにも合わせて297名の市民が避難しています。さらに、JRの運休に伴い、帰宅困難者受け入れ場所として「西部地域センター」などを開設しました。

昨年8月の「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」に引き続き、今回の遠地（えんち）津波による津波警報への対応が求められ、新たな課題も浮き彫りになりました。これを受け、危機管理部局には検証を進めるよう指示したところです。

また、酷暑の中での避難が行われたことを受け、公約に掲げた「避難所のエアコン環境整備」の必要性をより強く感じております。今後、避難所となる小中学校体育館へのエアコン設置を優先的に進めてまいりたいと考えております。

（元気なまちの実現）

続いて、「元気なまちの実現」にむけた取組です。

6月末に、鷺津駅周辺の商店主など有志の企画によって開催された「踊ろフェス」をはじめ、7月末には、市と商工会がタッグを組んで運営する「わしづ駅前 ちょこっと夜市」がスタートしました。これらの取組は、駅前の公共空間を活用した官民連携による賑わい創出のための実験的な取組で、おかげさまで、回を重ねるたびに大盛況となっており、職員の努力と工夫により出店者を盛り上げるとともに、SNSを巧みに活用し、集客につなげている点を高く評価しています。

この取組をきっかけとして、駅前の公共空間の利活用がさらに進むことを期待しています。

また、8月上旬には、「トヨタバッテリー新居工場夏祭り」が初めて開催され、夜空に向けたLEDランタンのリリースに、多くの市内在勤者や市民の方々が参加しました。今後も、企業や市民有志によるイベントが元気なまちの実現に繋がるよう、情報発信や集客に力を入れ、支援してまいります。

9月20日には、第30回湖西おいでん祭がボートレース浜名湖で開催されます。ステージイベントや出店、イベントブース、市民総おどりに加え、手筒花火や「消防フェスタ」、「環境フェア」も同一会場で実施されるなど、多彩な催しが用意されています。さらに、恒例の「湖西湖上花火大会」に加え、今回はテレビ番組で有名な「水曜どうでしょうキャラバン2025」のタイアップイベントも同時開催されます。市内外問わず、多くの皆さまにぜひご参加いただければと思います。

（暮らしやすさの実現・公共交通）

続いて、公共交通の取組についてお話しいたします。市民意識調査の結果、湖西市で住みにくいと感じる点として交通の便が悪いという声が多く、これを改善するために優先的に進めてきた取組です。現在、市では公共交通として、コーちゃんバス、コーちゃんタクシー、企業シャトル「B a a S（バース）」の3つのサービスを展開していますが、市民の皆様の満足度が低く、改善の余地があると考えていました。そこで、まずはコーちゃんタクシーを便利にし、その後、コーちゃんバスや企業シャトルバスにも手を加えていきたいと考えています。コーちゃんタクシーの拡充については、すでに内容を決定し、事業者

との調整も完了していることから10月からまずは実証運行という形で取組を開始してまいります。具体的な拡充内容は、以下の6点が挙げられます。

1つ目は、休日運行です。これまで平日のみの運行でしたが、市民から土日も運行してほしいという要望が多く寄せられていたため、土日も運行を行います。

2つ目は、運行便数の拡大です。これまでは1時間ごとの予約受付でしたが、30分刻みで予約できるように変更します。

3つ目は、運行時間の拡大です。運行時間を朝1時間、夕方1時間拡大し、さらに便利に利用できるようにします。

4つ目は、指定施設間の移動です。これまでは自宅と目的地との間のみの利用に限られていましたが、調査の結果、市民の約4割がついでに他の場所にも行きたいというニーズがあることがわかったことから、指定施設から指定施設への移動も可能とします。

5つ目は、指定施設の増加です。これまで60ヶ所だった指定施設を4倍の240ヶ所に増やし、市内の主要な施設をほぼ網羅します。これまで指定施設から外れていた公共施設やドラッグストアなども指定施設に追加しました。

6つ目は、運賃の見直しです。運賃についても先進事例を参考に議論を重ねた結果、湖西市内どこに行ってもワンコイン、すなわち乗車1回500円とすることとしました。10月からの実証運行では、これらの拡充内容を試験的に実施し、良い点や改善点を見つけていきたいと考えています。

（暮らしやすさの実現・教育）

続いて、教育の取組についてお話しします。

PFI事業で進めている学校給食センターは、この9月には、吉美地内の建設予定地に着工予定で、順調に進捗しており、園児・児童・生徒に安全・安心でおいしい給食を安定的に提供できるよう、令和9年4月の開業を目指しています。

次に、学校再編事業についてです。北部地区では、3月に策定した基本計画に基づき、小学校および中学校の統合を円滑に推進するため、7月に統合準備委員会を発足しました。この準備委員会では、「校名」「校歌」「制服」などの基本的な事項を協議していきます。今後、東小学校と知波田小学校の2校が統合され、現在の湖西中学校の校舎を活用し、令和10年4月に新しい小学校が開校する予定です。中学校については岡崎中学校に統合します。

白須賀地区では、学校再編に関するアンケートの実施に向けて引き続き検討委員会で意見交換を重ねてまいります。

キャリア教育の取組では、昨年のスズキ株式会社、鈴木俊宏社長による特別授業に引き続き、9月9日にはトヨタバッテリー株式会社のご協力のもと、市内の中学3年生を対象に『Battery to the Future「KOSAIのいいとこ過去・現在・未来」』をテーマに、岡田政道（おかだまさみち）社長より講演をいただきます。講演のほか、車両展示やものづ

くり体験などを通じて、「モノづくりのまち」である「こさい」には世界に誇る技術を持つ企業があることを知ってもらい、まちへの誇りと愛着を醸成するとともに、生徒たちのこれからのキャリア形成の一助となることを期待しています。

(結び)

結びに、この10月には国勢調査が実施されます。前回の調査では、市のインターネット回答率は46.3%でした。今回は50%以上の回答率を目指し、調査への周知に努めてまいります。国勢調査の目的は、国の人口、世帯、地域別の分布などを正確に把握し、国や地方自治体の政策立案、予算編成、福祉施策、教育、社会保障などの計画に必要な基礎データを提供することです。この調査結果は、まちの将来を見据えた施策立案に欠かせない重要なデータです。特に、人口動態や地域別の人口分布を把握することが、今後のまちづくりやサービス提供に大きな影響を与えていると考えています。

この6月に国が閣議決定した地方創生2.0基本構想では、少子化対策により人口減少のペースが緩まるとしても、当面は人口・生産年齢人口が減少するという事態を正面から受け止めた上で、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていく方針がしめされました。これは、これまでの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でしめされてきた、人口減少・地域経済の縮小の克服を目指す抑制策から適応策への変化がもとめられていると理解しております。

現在、市の人口減少傾向は衰えることなく加速しています。これまで市は、「職住近接」のもと人口減少を抑制するための施策に力を入れてきましたが、今後はこの考え方を見直す時期に来ていると感じています。

人口減少に対応するためには、単に人口を増やす施策に頼るのではなく、市民一人ひとりが「湖西市に住みたい、住み続けたい」と感じるができる魅力的なまちづくりが不可欠です。私たちが目指すべきは、市民一人ひとりの「満足度」を高め、より多くの人々がこのまちに愛着を感じ、将来にわたって定住したいと思えるような社会の実現です。特に未来を担うこどもたちにとって、魅力あふれる元気なまちであり続けることが重要だと強く感じています。

今後、現在進めている総合計画審議会にも、こうした考え方を提案し、共に方針を取りまとめたうえで、あらためて議員の皆様にも提案してまいりたいと考えています。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、補正予算、決算認定など合計24件です。本議会におかれましても、引き続き、建設的かつ前向きなご提案やご議論をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以 上